



# たんぽぽニュース No.56

2022年 9月1日発行

今号は、様々な取り組みについてご紹介します。

たんぽぽで初めて、種からシソを育てるプログラムを5月から始めました。

ご利用者様にシソの種を撒き、育てる楽しみ、最後は、たんぽぽのお昼に育てたシソを食するという取り組みです。

当初は、なかなか芽がでず、芽が出てモヤシのような細さで心配していましたが、Aさんの日々のお世話のおかげで、立派なシソに成長しました。まだまだ小さいですが、何とか10枚ほど収穫できたので、お昼のお漬物に出すことができました。「もっとおおきくしないとね。鉢が小さいから、植え替えた方が良い」とのアドバイスもあり、プランターに植え替える予定です。これからのシソの成長が楽しみです。



↑

なかなか芽が出ず心配していましたが、芽が出て「良かった！」と一安心。

Aさんは、テイに来るたびに、まずシソの成長を確認されます。午後の時間帯にシソに水やり、シソの状態を観察していただいています。「もうちょっと日光に当てた方がいいんじゃない」など、アドバイスを頂きながら、元気なシソに成長しました。



↑

「ここまで成長したから、食べてみよう」と、1回目の収穫。シソ10枚ほどを厨房の調理員さんへお渡ししました。

「このシソがどのように調理されるのか楽しみです」と。お昼に、白菜の漬物と一緒に出てきました。

「あっという間に食べて終わってしまいました。次の収穫が楽しみ」と皆さん、喜ばれていました。

7月に理美容サービスのデモンストレーションを行い、9月から理美容サービス（保険外サービス）を開始します。美容師さんも丁寧に接していただけるので、モデルになった利用者の方も安心していました。髪を切った後は、他の利用者の方から「かわいいわね。似合っている」と。大変喜ばれていました。9月より、月1回定期的に実施していきます。





↑  
**理美容サービスのデモンストレーション。モデルになったBさんは、なかなか美容院に行けず、ご家族からもぜひカットしてもらいたいとの強い希望がありました。今回は、モデルとして、カットしてもらいました。手際よくカットして頂き、眉も整え、他の利用者の方からも「ステキ！」との声がかかり、大満足のBさん。**

8月5日、19日と2回、八王子共立診療所から、立川相互病院2年目研修医の宮本医師が、地域医療研修の一つとしてたんぽぽに来られ、利用者の方々と交流をされました。宮本先生には、血圧測定、検温、プログラム介助、お昼の体操、午後のプログラム介助、おやつ配膳まで、デイで提供するサービスのほとんどを体験して頂きました。

ご利用者の方々からは、「若いっていいね。いくつ。」と質問攻めにあいました。女性の利用者の方は、皆さん乙女になりました。お昼の体操では、職員が行う体操の時よりも、熱心に体操をしている姿に、職員一同、「やっぱり若い先生だと違うね。」と若さは特権とつくづく感じさせられました。宮本先生、ありがとうございました。



レクリエ（福祉雑誌）の『こんな制作をしました』のコーナーにたんぽぽから便りを送っていましたが、3回目で写真が紹介されました。（レクリエ 9・10月号）本物の落ち葉を使い、制作したものです。→



医療法人財団 共立医療会  
 デイサービスセンターたんぽぽ  
 八王子市東町2-3 共立ビル5F  
 TEL：042-639-7630  
 ホームページ  
[kyo-ritu.jp/tampopo.html](http://kyo-ritu.jp/tampopo.html)

